

# ニュース・レター

No. 36 2013年12月

## 目次

<a href="#">理事長挨拶</a>	1頁
<a href="#">2013年度総会議事録</a>	3頁
<a href="#">2013年度総会・研究会報告</a>	7頁
<a href="#">2012年度日本選挙学会賞</a>	12頁
<a href="#">『選挙研究』目次</a>	14頁
<a href="#">各委員会からのお知らせ</a>	16頁
<a href="#">理事会だより</a>	19頁
<a href="#">理事会議事録</a>	21頁
<a href="#">事務局だより</a>	32頁

## 5年後、10年後の学会に向けて

平野 浩

昨年のニュースレターでは、「デモクラシー研究としての選挙研究」の蓄積の重要性について述べさせていただきました。今年度の大会における諸報告や『選挙研究』掲載論文などを見ると、現実としてそうした関心が広がっていることを実感します。そこでは、法学、歴史学、政策研究といった領域とのコラボレーションが改めて重要性を増してくることでしょう。我々研究者も、特定のテーマについての最先端部分を掘り進めること、様々なテーマの関連性を見抜き新たな研究領域を開拓していくこと、更にはそれらの研究から得られたインプリケーションを現実の社会にフィードバックしていくことなど、ますます多くのチャレンジングな課題に答えねばなりません。こうした状況に立ち向かうためには、自分の教育・研究上のバックグラウンド、あるいはこれまでの経験や研究業績などに囚われない頭と心と行動力を持つ必要があるでしょう。多くの情報に容易にアクセスすることが可能となる一方で、ともすると同じテーマに異なるアプローチで挑む者同士、あるいは異なるテーマに同じアプローチで挑む者同士のコミュニケーションが不足しがちな今日、こうした見えない不効率の解消に資することも、本学会の使命の一つであると思います。

そのための会員へのサポートについて、これも昨年のニュースレターで国際化と電子情報化に関する新たな取り組みを進めていることをご報告致しました。このうち国際化に関しては、今年度から「国際共同研究奨励費」と「海外学会報告奨励費」という二つの助成事業を開始し、それぞれ最初の受領者も決まりました。また電子化につきましては、昨年

ご報告致しました入会審査システムの電子化に続き、来年度からは懸案であった『選挙研究』の電子投稿システムの運用も始まる予定です。会員の皆様のより積極的な投稿に繋がることを期待しております。

もちろん、学会を取りまく環境が大きく変わりつつある中、良いニュースばかりではありません。例えば『選挙研究』に対する科研費の出版助成については、制度が大きく変更されたため、現在申請を見送っている状況にあります。すでに30年（すなわち一世代）を超える歴史を持ち、社会科学系の学会として確かな地位を確保するに到った本学会が、今後もそれを維持するためには、こうした新たな環境への適応を積極的に進めていかなければなりません。とは言え、学会を維持することが自己目的化してしまっただけでは本末転倒です。むしろ「5年後、10年後にどのような学会として存在していきたいのか」についてのイメージを持ち、それに向けて着実に進んでいくことが重要であると思います。そのためにも、今後とも会員の皆様の積極的なお力添えをお願いする次第です。

（ひらの ひろし・学習院大学法学部教授）

## 2013 年度総会議事録

2013 年度の総会は、2013 年 5 月 18 日（土）に京都大学（大会運営委員長＝鈴木基史理事）にて開催されました。

日 時：2013 年 5 月 18 日（土） 17 時 45 分～18 時 30 分

場 所：京都大学 吉田キャンパス

### 1. 理事長挨拶

平野浩理事長より 2013 年度総会の開会に当たり挨拶があった。

### 2. 開催校挨拶

鈴木基史 2013 年度大会委員長より、同大会の進行状況について報告があった。

### 3. 各委員会活動報告

#### ■ 企画委員会

堤英敬 2013 年度大会企画委員長より、2013 年度研究会のプログラムについての説明があった。森裕城 2014 年度大会企画委員長より挨拶があった。

#### ■ 年報編集委員会

小西徳應年報編集委員長（第 29 巻担当）より、第 29 巻 1 号の準備状況、および同 2 号の編集方針について報告があった。谷口尚子年報編集委員長（第 30 巻担当）より、第 30 巻 1 号において特集論文の公募を行う方針であることが報告された。

#### ■ 国際交流特別委員会

日野愛郎国際交流委員長より、海外学会報告奨励費、および国際共同研究奨励費制度の創設について説明があった。

#### ■ 電子情報化特別委員会

今井亮佑電子情報化委員長より、論文投稿システムの開発状況、および電子ジャーナル化の進捗状況について報告があった。

#### ■ 学会賞選考委員会

鈴木基史学会賞選考委員長より、2012 年度学会賞の選考結果について報告があった。

#### ■ 選挙管理委員会

浅野和生選挙管理委員長より、2013 年度理事選挙に関する説明があった。

#### **4. 2012 年度決算・監査報告**

名取良太事務局長より、経常部分総額 13,887,634 円、特別会計の年報発行準備金総額 10,255,558 円からなる 2012 年度決算についての説明がなされた。ついで岡田信弘・安野智子両監事による監査報告が行われた。2012 年度決算報告を承認した。

#### **5. 2013 年度予算案について**

名取事務局長より 2013 年度予算案について趣旨説明があり、経常部分総額 12,930,922 円、特別会計の年報発行準備金総額 10,256,533 円からなる 2013 年度予算案が原案どおり承認された。についての説明がなされた。今後経常的な赤字が見込まれる点については、事務委託の廃止、委員会・事務局活動費の節減、会員数の拡大等による対応を検討していると説明された。2013 年度予算案を承認した。

#### **6. 2014 年度総会・研究会の開催について**

河野勝 2014 年度大会委員長より、同大会の準備状況についての報告があった。

#### **7. 2015 年度総会・研究会の開催について**

名取事務局長より、2015 年度総会・研究会は熊本県の協力を得て開催する方針であること、また同大会委員長に今井理事を当てる予定である旨が報告された。

#### **8. その他**

名取事務局長より、2013 年度第 1 回理事会において 9 名の新規入会者が承認された旨が報告された。

以 上

## 2012 年度 決算報告

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	7,898,179	総会・研究会費	500,000
寄付（櫻田会）	1,400,000	委員会・事務局活動費	1,050,000
科学研究費助成金	800,000	事務委託費	694,451
会費等（含、バックナンバー販売）	3,711,541	通信費	6,530
年報等売上金	0	ウェブサイト作成・開発費	439,530
利息	1,054	学生アルバイト費	0
委員会活動費返却	76,860	謝金	10,000
		韓国選挙学会との交流費	127,420
		学会賞賞金	150,000
		印刷費	3,072,530
		文具費	0
		雑費	16,251
		年報発行準備金への繰出	1,000
		予備費	0
		次年度への繰越金	7,819,922
合 計	13,887,634	合 計	13,887,634

## 年報発行準備金

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	10,252,925	次年度への繰越金	10,255,033
経常経費からの繰入金	1,000	雑費	525
利息	1,633		
合 計	10,255,558	合 計	10,255,558

2013 年（平成 25 年）5 月 18 日

以上の通り相違ありません

監事 岡田 信弘  
監事 安野 智子

### 2013 年度 予算案

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	7,819,922	総会・研究会費	500,000
寄付（櫻田会）	1,400,000	委員会・事務局活動費	1,100,000
会費等（含、バックナンバー販売）	3,700,000	事務委託費	750,000
年報等売上金	10,000	通信費	10,000
利子	1,000	ウェブサイト作成・開発費	1,000,000
		学生アルバイト費	10,000
		謝金	35,000
		海外交流費	500,000
		学会賞賞金	150,000
		印刷費	3,100,000
		文具費	10,000
		雑費	20,000
		次年度への繰越金	5,745,922
合 計	12,930,922	合 計	12,930,922

### 年報発行準備金

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	10,255,033	次年度への繰越金	10,256,533
受取利息	1,500		
合 計	10,256,533	合 計	10,256,533

[目次へ](#)

## 2013 年度総会・研究会報告

2013 年度日本選挙学会総会ならびに研究会は、2013 年 5 月 18 日（土）・19 日（日）に京都大学で開催されました。

第 1 日 5 月 18 日（土）

### ◆分科会 A・B・C (10:00~12:00)

#### 【分科会 A（議会部会）：立法と選挙活動】

##### ◇司会者

藤村 直史（神戸大学）

##### ◇報告者

矢内 勇生（早稲田大学）・Michael F. Thies (UCLA)：「分割議会と立法：日本のねじれ国会」

梅田 道生（日本学術振興会・東京大学）：「日本の衆議院選挙の「全国化」と政党得票率変動の増大」

ケネス マッケルウィン（ミシガン大学）

孫 齊庸（東京大学）：「候補者の政策選好とキャンペーン戦略」

##### ◇討論者

大村 華子（関西学院大学）・平野 淳一（新居浜高専）

#### 【分科会 B（比較部会）：ヨーロッパ極右の戦略的変容】

##### ◇司会者

成廣 孝（岡山大学）

##### ◇報告者

吉田 徹（北海道大学）：「フランス FN（国民戦線）のトランスフォーメーション：2012 年大統領選選を中心に」

古賀 光生（立教大学）：「新自由主義から福祉排外主義へ：西欧右翼ポピュリストの戦略転換」

渡辺 博明（龍谷大学）：「スウェーデンにおける選挙政治の変容と右翼政党の議会進出」

##### ◇討論者

小堀 眞裕（立命館大学）・芦田 淳（国会図書館）

#### 【分科会 C（法律・制度部会）：選挙をとりまく制度の再検討】

##### ◇司会者

湯浅 壘道（情報セキュリティ大学院大学）

◇報告者

新井 誠（広島大学）：「参議院議員選挙区選出選挙の『一票の較差』をめぐる最高裁大法廷違憲状態判決について」

篠原 新（九州大学）：「院内新党誘発型2大政党制への接近：政治改革以降の政党システム」

松本 俊太（名城大学）：「アメリカ50州における選挙ガバナンス：聞き取り調査に基づく記述と仮説」

◇討論者

神橋 一彦（立教大学）

◆理事会（12:05～12:55）

◆分科会D・E・F（13:00～15:00）

【分科会D（地方部会）：組織票の行方】

◇司会者

品田 裕（神戸大学）

◇報告者

田中 智和（関西大学）：「本当に小沢一郎は選挙に強いのか？」

久保慶明（筑波大学）：「政治過程における利益団体の動向」

山口希望（法政大学）：「連合組織の選挙対応とその変容：岡山県の事例を中心に」

◇討論者

浅野一弘（札幌大学）・森裕城（同志社大学）

【分科会E（方法論部会）：自然実験と構造推定】

◇司会者

和田 淳一郎（横浜市立大学）

◇報告者

福元 健太郎（学習院大学）：「政治家の口利きによる交通違反のもみ消し」

安達 貴教（名古屋大学）：「構造推定：政治現象理解のための一手法」

◇討論者

飯田 健（神戸大学）・尾野 嘉邦（国際大学）・砂原 庸介（大阪市立大学）

【分科会F（社会心理部会）：政治的態度研究の新展開】

◇司会者

稲増 一憲（武蔵大学）

◇報告者

村上 史朗（奈良大学）：「潜在的態度の測定法と政治研究への応用について」

三村 憲弘（早稲田大学）・山崎 新（早稲田大学）：「反論提示による態度変化：政治的議論で党派と知識が果たす役割」

大久保 重孝（慶應義塾大学）：「多属性意思決定の枠組みと過程追跡法」

◇討論者

谷口 尚子（東京工業大学）・安野 智子（中央大学）

◆共通論題：政権交代以降の投票行動・政治意識（15:15～17:45）

◇司会者

堤 英敬（香川大学）

◇報告者

飯田 健（同志社大学）：「リスク志向有権者がもたらす政治的帰結：2012年総選挙の分析」

松本 正生（埼玉大学）：「そのつど支持」の政治的脈絡：短期的選択と選挙ばなれ」

善教 将大（東北大学）・坂本 治也（関西大学）：「維新の会支持態度の分析」

◇討論者

田中愛治（早稲田大学）

◆総会（17:45～18:30）

◆懇親会（18:45～）

第2日 5月19日(日)

◆分科会 G・H・I (10:00~12:00)

【分科会 G (歴史部会) : 55年体制成立前後のインフラ整備と選挙】

◇司会者

酒井 正文 (平成国際大学)

◇報告者

手島 仁 (群馬歴史博物館) : 「55年体制成立前のインフラ整備と選挙 : 群馬県の事例から」

小宮 一夫 (國學院大學) : 「戦後の伊豆半島における観光開発とインフラ整備、地方政治社会 : 熱海・伊東を事例に」

城下 賢一 (京都大学) : 「岸政権の公共事業の展開と選挙」

◇討論者

小宮 京 (桃山学院大学)・松本 洋幸 (横浜開港資料館)

【分科会 H (国政部会) : 民主党政権下の政党組織・政策過程・議員行動】

◇司会者

白鳥 浩 (法政大学)

◇報告者

前田 幸男 (東京大学)・森 正 (愛知学院大学) : 「民主党政権における立法と議員行動 : 造反・離党の研究」

濱本 真輔 (北九州大学) : 「民主党政務調査会の研究 : 政権交代前後の比較」

鶴谷 将彦 (立命館大学) : 「民主党政権は地方に何をもたらしたのか : 民主党地方組織 (都道府県連) と代議士に注目して」

◇討論者

丹羽 功 (近畿大学)・松田 憲忠 (青山学院大学)

【分科会 I (アジア部会) : Social Inequality and Its Political Implications】

◇司会者

堤 英敬 (香川大学)

◇報告者

Ying-Lung Chou (国立政治大學), Lu-Huei Chen (国立政治大學), Hung-Chung Wang (国立政治大學)

“Income Inequality and Presidential Popularity: the Case of Taiwan”

Ching-Hsin Yu (国立政治大學), Su-Feng Cheng (国立政治大學), Eric Chen-Hua Yu (国立政治大學)

“Robin Hood Effects: A Simplified Version of Citizen’s Perceptions of Inequality in Taiwan”

◇討論者

石生 義人（国際基督教大学）

◆ポスターセッション(13:00～15:00)

【選挙研究のフロンティア】

◆ポスターセッション：選挙研究のフロンティア（13:00～15:00）

竹内 桂（明治大学大学院）：「阿波戦争」と三木武夫」

横山 智哉（一橋大学大学院）：「政治的会話が政治参加に及ぼす効果：政治的関与の媒介効果に注目して」

尹 月（東京大学大学院）：「メディアが映す政治：NHK ニュースは政治家中心の放映に転換したか？」

秦 正樹（神戸大学大学院）：「若年層の政治関心とライフサイクルに関する実証分析」

堀田 敬介（文教大学）：「区割画定における合県の評価と人口頑健性について」

村上 剛（ブリティッシュ・コロンビア大学大学院）：「2008年カナダ連邦選挙における候補者の民族的背景の投票への影響」

谷口 尚子（東京工業大学）・クリス・ウインクラー（ドイツ日本研究所）：「国際比較・時系列比較可能な政策コーディング法とその応用」

金 東煥（立命館大学）：「大統領候補者選定過程における選挙区レベルの分析：民主統合党・済州特別自治道を事例に」

西川 美砂（ボール州立大学）・Steven Hall（ボール州立大学）：「Ruling Party Duration and Economic Volatility」

遠藤 晶久（早稲田大学）・Jou Willy（早稲田大学）：「How Does Age Affect Perceptions of Parties' Ideological Locations?」

平野 淳一（新居浜高専）：「市長の行財政改革が再選可能性に与える影響」

◆分科会 J・K・L（15:00～17:00）

【分科会 J（特別セッション）：被災地における選挙管理と政治意識】

◇司会者

河村 和徳（東北大学）

◇報告者

伊藤 裕頭（富士大学、元IBC岩手放送）：「被災地における選挙の実態：岩手県の事例を中心に」

湯浅 壱道（情報セキュリティ大学大学院）：「被災地における選挙と法」

三浦 保徳（宮城県選挙管理委員会事務局）：「被災地における選挙管理：宮城県の事例を中心に」

村瀬 洋一（立教大学）：「被災地における政治意識と不安感や被害金額の関連：生活と防災についての仙台仙北意識調査の計量分析」

**【分科会 K (自由論題 I) : 選挙・政策・政権】**

◇司会者

森 正 (愛知学院大学)

◇報告者

土倉 莞爾 (関西大学) : 「社会党の政権奪還 : 2012 年フランス大統領選挙・総選挙の概括」

西川 賢 (津田塾大学) :

「政治家のイシュー・ポジションの変化をどう説明するか : リチャード・ニクソンと 1960 年選挙における公民権問題を事例として」

新川 匠郎 (上智大学) : 「ヨーロッパ諸国に見る大連立政権の説明 : マルチメソッド・テストを通じて」

◇討論者

富崎 隆 (駒澤大学)

**【分科会 L (自由論題 II) : 政治意識の諸相】**

◇司会者

中村 悦大 (愛媛大学)

◇報告者

塩沢 健一 (日本学術振興会) : 「住民投票における争点提示と「民意」の正統性 : 鳥取市の事例をもとに」

白崎 護 (京都大学) : 「小泉首相と自民・民主各党への感情温度におよぼす対人接触とニュース視聴の影響」

◇討論者

中村 悦大 (愛媛大学)・三船 毅 (中央大学)

## 2012 年度日本選挙学会賞

日本選挙学会賞は、会員相互の研究交流の促進と広い意味の選挙研究の発展を目的として、2009 年度に創設されました。学会賞には、『選挙研究』に掲載された会員の優れた投稿論文を対象とする「優秀論文」、研究会における会員の優れた論文報告を対象とする「優秀報告」、研究会のポスターセッションにおける会員の優れた研究発表を対象とする「優秀ポスター」、の3つの賞が設けられています。

2012 年度の受賞者は次のとおりです。

### 【優秀論文】

松林 哲也（ノーステキサス大学）・上田 路子（シラキューズ大学）  
「市町村議会における女性の参入」

### 【優秀報告】

辻 由希（立命館大学）  
「レジーム再編と女性首長」  
金 兌希（慶應義塾大学大学院）  
“Comparing Political Efficacy: An Analysis of CSES Data”

### 【優秀ポスター】

前田 幸男（東京大学）  
「政党支持の変動—2007 年から 2011 年まで—」  
遠藤 晶久（早稲田大学大学院）  
「動員交差圧力と投票行動」

## 講評

今回の受賞作は、優秀論文については『選挙研究』28 巻に掲載された独立論文の中から、優秀報告については 2012 年度に筑波大学で開催された研究大会で発表された 29 報告、優秀ポスターは同じく 12 報告のなかから、それぞれ選ばれました。優秀論文は、日本政治における女性の進出が芳しくない中でも、市町村合併後の地方選挙での女性政治家の躍進に着眼し、選挙区規模や政党組織の観点から分析を行ったもので、着想の良さが光りました。優秀報告 2 点は、女性会員によるものであったところで共通する一方、ひとつは戦後女性首長に関する膨大なデータを収集しつつ、その台頭を示唆する典型的な事例について比較分析を行い、もうひとつは政治的有効性と選挙区・政権規模との相関について量的データを用いて精緻に検証したという好対照の内容を含む力作でした。優秀ポスター 2 点は、政権交代前後の政党支持の変容と、認知・参加・投票に関わる政党・社会集団の動員効果をテーマとして掲げ、それぞれ適切な計量分析法で解析した秀作でした。以上の受賞

作品はすべて現代政治に潜む問題、変容、相関を斬新な視点から析出し、学会の発展に大きく寄与するものであるところが高く評価されました。

2012 年度学会賞選考委員長 鈴木 基史

[目次へ](#)

『選挙研究』 目次

第 29 卷 1 号

はじめに	小西徳應
<b>&lt;特集 1 選挙制度の発生・伝播・受容 I &gt;</b> 1848年サルデーニャ王国選挙法と有権者の創造	池谷知明
ドイツ連邦議会選挙法成立過程の一考察： 比例代表制と小選挙区制導入の経緯について	河崎 健
英国における2011年国民投票と選挙制度改革	富崎 隆
<b>&lt;特集 2 震災と選挙&gt;</b> 東日本大震災被災地の選挙管理におけるマンパワー不足	河村和徳
東日本大震災は日本人の政治意識・行動をどう変えたか	境家史郎
福島第一原発事故後の原子力世論：その規定要因の実証分析	善教将大
「ねじれ」状況下における業績評価と投票行動	今井亮佑・荒井紀一郎
震災後の不安感と被害金額の規程因： 被害と社会階層に関する仙台仙北調査の計量分析	村瀬洋一
<b>&lt;書 評&gt;</b> 竹中佳彦，蒲島郁夫著『イデオロギー』東大出版会，2012年	遠藤晶久
猪口孝『現代政治学叢書2 ガバナンス』東大出版会，2012年	岩崎正洋
小林良彰『政権交代』中公新書，2012年	
薬師寺克行『証言民主党政権』講談社，2012年	石上泰州
御厨貴『政治主導の教訓』勁草書房，2012年	
松田忍著『系統農会と近代日本 一九〇〇～一九四三年』勁草書房，2012年	小田義幸
小山俊樹著『憲政常道と政党内閣』思文閣出版，2012年	若月剛史
中澤俊輔著『治安維持法』中公新書，2012年	小宮一夫
上山信一『大阪維新』角川SSC，2010年	
砂原庸介『大阪』中公新書，2012年	中邨 章
市川喜崇『日本の中央-地方関係』法律文化社，2012年	

## 第 29 卷 2 号

はじめに	小西徳應
<b>&lt;特集 1 選挙制度の発生・伝播・受容Ⅱ&gt;</b> 日本の選挙制度：その創始と経路	清水唯一朗
アフリカにおける選挙制度の伝播と普及： 下院選挙制度とその運用実績を中心に	六辻 彰二
インドネシアの選挙と議会：その変遷と不変性	井上 治
<b>&lt;特集 2 政権交代以降の投票行動・政治意識&gt;</b> リスク受容の有権者がもたらす政治的帰結：2012年総選挙の分析	飯田 健
「そのつど支持」の政治的脈絡：短期的選択と選挙ばなれ	松本正生
維新の会支持態度の分析	善教将大 坂本治也
<b>&lt;特集 3 学会賞受賞論文&gt;</b> レジーム再編と女性首長：キャリアパスと政治的資源	辻 由希
The Democratic System and Political Efficacy： An Analysis of CSES Data	Taehee Kim
<b>&lt;特集 4 独立論文&gt;</b> 得票の継承に対する世襲の効果：政党投票・候補者投票との比較	福元健太郎 中川 馨
SNTVとM+1法則：政令市県議選データの優位性を活用して	茨木 瞬
<b>&lt;資料 最近の選挙結果&gt;</b> 最近の選挙結果	三船 毅
<b>&lt;書 評&gt;</b> M・エーデルマン著『政治スペクタクルの構築』青弓社，2013年 谷口将紀著『政党支持の理論』岩波書店，2012年 吉田修『自民党農政史（1955-2009）農林族の群像』大成出版社，2012年 F・ローゼンブルース，M・ティース著『日本政治の大転換： 「鉄とコメの同盟」』勁草書房，2012年 上神貴佳著『政党政治と不均一な選挙制度： 国政・地方政治・党首選出過程』東大出版会，2013年 大西 裕編著『選挙管理の政治学： 日本の選挙管理と「韓国モデル」の比較研究』有斐閣，2013年 久保慶一・河野 勝編『民主化と選挙の比較政治学』勁草書房，2012年	谷藤悦史 竹中佳彦 河村和徳 大村華子 白鳥 浩 桑原英明 浜中新吾

[目次へ](#)

## 各委員会からのお知らせ

### 【企画委員会から】

2014 年度の日本選挙学会の総会・研究会は、2014 年 5 月 17 日（土）・18 日（日）に早稲田大学（大会運営委員長・河野勝理事）で開催されます。

研究会では 9 の分科会，すなわち，社会心理部会「政治意識と投票行動研究の新展開」，法律・制度部会「選挙管理の実務・法律学・政治学」，データベース部会「政治関連データの収集および公開に関する現状と課題」，比較部会「選挙研究における民族と地域」，地方部会「地方分権改革の政治過程」，数理部会「数理的選挙研究の先端」，歴史部会「戦前日本の『挙国一致』と選挙—非常時局の論理と実態」，議会部会「日本の国会政治の変化と連続」，書評セッション「民主党研究における継続と発展 上神・堤編『民主党の組織と政策』の書評」が企画されています。また例年通り，2 日目の午後にはポスターセッション「選挙研究のフロンティア」が行われます。

1 日目に開催される共通論題のテーマは「自民党政治における連続と変化」で，かつての自民党政治と現在の自民党政治は，何が同じで何が異なっているのかを，有権者の政治意識，政党組織，権力行使の問題に焦点を当て，多面的な検証が行われる予定です。また 2 日目に予定されている書評セッションでは，共通論題と同規模の会場を使用し，民主党研究の到達点と今後の課題を議論します。いずれもふるってご参加をいただければと存じます。

プログラムの詳細は，近日中に学会のウェブサイトで公開の予定ですので，会員各位にはご確認いただければ幸いです。また，今後のスケジュールは，以下のとおりとなっております。

- 2 月 16～28 日：報告概要アップロード期間
- 3 月 3 日：報告概要一般公開開始
- 4 月 16～30 日：報告論文アップロード期間
- 5 月 1 日：報告論文ダウンロード開始（会員限定）
- 8 月 19 日：報告論文アーカイブ移行

なお，ポスターセッションにつきましては，報告枠にまだ余裕がございますので，追加募集を行っております。報告を希望される方は，学会ウェブサイトの My JAES から，1 月 31 日（金）までにお申し込みください。

それでは，会員の皆様と早稲田大学にてお会いするのを楽しみにしております。

（2014 年度大会企画委員長 森裕城）

### 【年報編集委員会から】

『選挙研究』第 29 巻第 1 号は 7 月に刊行し，皆様の届けられていることと存じます。第 29 巻第 2 号は，第 1 号に続いて「選挙制度の発生・伝播・受容」を特集の一つとし，もう一つに 5 月に開催された研究会の共通論題（「政権交代以降の投票行動・政

治意識)を取り上げました。別途、学会賞受賞論文を2本、査読を通過した投稿論文2本を掲載しています。年内に刊行、発送予定ですので、こちらもすでにお手元に届いていることと思います。

(年報第29巻担当編集委員長 小西徳應)

『選挙研究』第30巻の年報編集委員会は現在、第1号の企画および書評の選考を進めています。現段階では、第30巻第1号で「実験政治学(仮)」,第2号で「近年の国政選挙の分析(仮)」に関する特集を組むことを検討しています。なお刊行予定は、第30巻第1号は2014年6月、第2号は2014年12月の刊行を目指しています。原則、2014年3月までに査読を通過した論文は第1号に、同年9月までに通過した論文は第2号に掲載される予定です。会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。

(年報第30巻担当編集委員長 谷口尚子)

#### ※※※論文投稿と送付先※※※

##### 1. 投稿の申し込み:

投稿は随時受け付けております。論文を投稿できるのは、投稿時点において年会費を完納している日本選挙学会の正会員です。論文を投稿するにあたっては、学会ウェブ上のMy JAESで会費納入状況を確認して下さい。なお、会費納入状況は月末締めで更新されますことにご留意下さい。投稿の詳細につきましては、学会ウェブの執筆要領・論文投稿規程(<http://www.jaesnet.org/download/rules/JJES20110928.pdf>)をご確認ください。

##### 2. 投稿原稿の送付先:

投稿原稿はPDFでeditor@jaesnet.orgに添付ファイルとして送信ください。投稿資格、様式などを確認のうえ、年報編集委員会より投稿受理の連絡を投稿者にするとともに、査読委員会に投稿論文を送付します。投稿後、時間が経過しても(2週間程度)原稿受理の連絡がない場合、改めて連絡をいただければ幸いです。なお、投稿の際には、

- ①タイトル
  - ②執筆者名
  - ③所属・職名
  - ④連絡先住所・電話番号・FAX番号・e-mailアドレス
- を記載した添付ファイルも忘れず送信ください。

#### 【査読委員会から】

今年度は10件の投稿を頂きました。前年度からの引継ぎ3件と合わせて、査読委員会として嬉しい悲鳴をあげつつ、作業を進めております。この中からすでに掲載が決まったものも複数ございます。

今年度は編集委員会の企画で特集が生まれ、それに対する投稿もいただいています。また、政治史系の論文の投稿もいただき分野の広がりを感じています。査読にご協力を頂いている方々には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

委員会は年4回開催を原則としていますが、今年度は特集論文公募への対応について協議する必要から、5回の委員会を予定しました。第1回を6月に、第2回を9月に、第3回を12月にすでに行っております。あと2回は2月中旬と5月中旬を予定しております。これだけの規模の投稿が今後も続くようだと、委員会運営も再検討する必要があるかもしれません。いずれにしましても論文の質の向上と学术交流促進のために、最善を尽くしたいと存じます。投稿、審査を含め、会員の皆様のご尽力に期待するや切であります。

(2013年度査読委員長 山田真裕)

### 【国際交流特別委員会から】

日本選挙学会では2013年度より、会員と外国の研究教育機関に所属する研究者の間の国際共同研究を促進するために国際共同研究奨励費を、若手会員による海外学会における報告を促進するために、本学会に海外学会報告奨励費を設けました。

2013年度の奨励対象者は以下の会員です。

なお奨励費受領者には、その成果を、日本選挙学会の研究会、『選挙研究』、または海外の学術誌で発表することが義務付けられています。

### 【国際共同研究奨励費】

福元健太郎会員（学習院大学）

研究課題：「Event Count Time Series Models: A Bayesian State Space Investigation」

山田恭平会員（国際大学）

研究課題：「Estimating the Effect of Political Boundaries on Economic  
Development with Remote Sensing Data」

### 【海外学会報告奨励費】

第一次募集： 応募者なし

第二次募集： 遠藤晶久会員（早稲田大学）

報告学会：Southern Political Science Association

報告論題：「The Limited Role of Campaign Mobilization in Japanese Elections:  
A Survey-Mode Comparison」

(国際交流特別委員長 日野愛郎)

[目次へ](#)

## 理事会だより

### 【学会賞について】

2013年12月7日に開催された2013年度第3回理事会において、以下の「2014年度日本選挙学会賞要綱」が承認されました。

### 2014年度日本選挙学会賞要綱

日本選挙学会事務局

(目的)

1. 日本選挙学会は、会員の優れた研究業績を顕彰するために、本学会に学会賞を設ける。

(学会賞の種類)

2. 学会賞として、以下を設ける。

- 1) 優秀ポスター

2014年度研究会のポスターセッションにおける会員の優れた研究発表を対象とする。

- 2) 優秀報告

2014年度研究会における会員の優れた論文報告を対象とする。

- 3) 優秀論文

2014年度に発行された、日本選挙学会年報『選挙研究』（第30巻第1号・第2号）に掲載された会員の優れた投稿論文を対象とする。

(選考委員会)

3. 学会賞の選考のため、選考委員会を組織する。選考委員会の構成は、以下の通りとする。

- 1) 選考委員会は、理事長の推薦、理事会の承認を得た選考委員長及び選考副委員長、当該年度の企画委員長、編集委員長、査読委員長によって構成される。

- 2) 選考委員会は、ポスター小委員会、報告小委員会、論文小委員会を組織し、それぞれ小委員会委員を会員に委嘱する。ただし、小委員会委員は公表しない。

- 3) 2. 選考委員会および各小委員会の任期は、各委員会の組織された日から学会賞の表彰される当該年次総会までとする。ただし、再任を妨げない。

(選考手続き)

4. 学会賞は以下の手続きによって選考する。

- 1) 各小委員会は、対象となる研究業績について第一次選考を行い、第二次選考に残る研究業績を選考委員会に提案する。

- 2) 選考委員会は、各小委員会の提案に基づき、第二次選考を最終選考とし、受賞候補を決定する。

- 3) 選考委員会は、定められた期日までに選考の経過および結果を理事会に報告する。

(表彰)

5. 受賞者それぞれに、賞状および副賞として賞金を授与する。

## 日本選挙学会 2012年度第3回理事会議事録

日時： 2012年12月8日（土） 14時00分～17時00分

場所： 学習院大学 目白キャンパス

東2号館（法経研究棟）13階 法学部大会議室

出席者：平野理事長，名取事務局長，池谷，今井，岩崎，岩淵，岡田，河崎，小西，品田，白鳥，竹中，谷口，堤，山田（以上，理事），荒井，岡田，境家（以上，幹事），安野（以上，監事）

### 議題

#### ◎ 確認事項

2012年9月15日開催の2012年度第2回理事会議事録が承認された。

#### ◎ 報告事項

##### 1. 各委員会の活動状況について

##### ■ 企画委員会

堤英敬 2013年大会企画委員長から2013年度研究会の企画案，報告応募の状況について報告があった。

森裕城 2014年大会企画委員長より（欠席により名取良太事務局長代読），企画委員の依頼を現在進めている旨が報告された。

##### ■ 年報編集委員会

品田裕年報編集委員長（第28巻担当）より，第28巻第2号の内容紹介，および同号の刊行準備が順調であるとの報告があった。また同委員長から『選挙研究』「執筆要領」の改定案が示され，了承された。

小西徳應年報編集委員長（第29巻担当）より，第29巻の準備状況に関する報告があった。また同委員長から「論文投稿規程」の複数論文投稿に関する文言の修正について提案があった。同件については次回の理事会で再検討することとした。

##### ■ 査読委員会

只野雅人査読委員長より（欠席により名取事務局長代読），投稿論文の査読状況に関する報告があった。

##### ■ 情報化特別委員会

今井亮佑情報化委員長より，『選挙研究』電子ジャーナル化の進捗状況，および論文投

稿システムの開発状況についての報告がなされた。

#### ■ 国際化特別委員会

日野愛郎国際化委員長より（欠席により名取事務局長代読）、国際化を推進するため「海外学会報告奨励費」および「国際共同研究奨励費」の創設を検討している旨が報告された。同制度については、次回理事会において正式な提案を行い、2013年5月の総会において発表することを目標とする。以上の提案を方向性として了承した。

#### 2. 2013年度総会・研究会の開催について（京都大学）

鈴木基史 2013年度大会委員長より（欠席により名取事務局長代読）、同大会の準備状況についての報告があった。

#### 3. 2014年度総会・研究会の開催について（早稲田大学）

河野勝 2014年度大会委員長より（欠席により名取事務局長代読）、同大会の準備状況についての報告があった。

#### 4. 韓国選挙学会との交流について

11月23日に開催された韓国選挙学会に白鳥理事が派遣された旨、名取事務局長より報告された。白鳥理事からは同学会での報告内容についての説明がなされた。また前回理事会で承認された浅羽祐樹会員の派遣については、同会員のスケジュールの都合により見送られた旨、名取事務局長より報告された。

#### 5. 2012年度学会賞について

鈴木基史学会賞選考委員長より（欠席により名取事務局長代読）、同委員会の2012年度の活動報告がなされた。

ついで2012年度学会賞の選考結果（論文賞1点、報告賞3点、ポスター賞2点）が品田理事・山田理事から発表された。

また優秀報告賞を受賞した論文を『選挙研究』に収録するため、優秀報告賞と優秀ポスター賞の審査時期を早めるべきとの意見が選考委員会内にある旨、平野浩理事長より報告された。

#### 6. 科研費申請について

名取事務局長より、本年度の科研費申請の件について説明があった。成果公開促進費に代わる新制度（国際情報発信強化）について、当学会の現状の事務体制ではこれに対応困難であるとして、事務局・編集委員長・査読委員長・科研担当幹事の協議の末、本年度の申請は見送られた旨が報告された。次年度以降の申請については、今後検討することとした。

#### ◎ 審議事項

#### 8. 2013年度学会賞要綱の策定について

「2013 年度学会賞要綱」案について名取事務局長より説明がなされ、審議を経てこれを承認した。

9. 日本選挙学会諸規程改定について

「日本選挙学会編集委員会規程」および「日本選挙学会査読委員会規程」の修正案について名取事務局長より説明がなされ、審議を経てこれを承認した。

10. その他

(1) 入退会申込者について

入会承認システムを利用した新入会員が3名あった旨が名取事務局長から報告された。また新規入会申請1件を承認した。

以 上

## 日本選挙学会 2012年度第4回理事会議事録

日時： 2013年3月23日（土） 14時00分～17時00分

場所： 学習院大学 目白キャンパス

東2号館（法経研究棟）13階 法学部大会議室

出席者：平野理事長，名取事務局長，浅野，阿部，今井，河崎，川戸，河野，小西，品田，鈴木，竹下，谷口，堤，日野，森（裕），森（正），山田（以上，理事），只野（以上，査読委員長），荒井，岡田，境家（以上，幹事）

### 議題

#### ◎ 確認事項

2012年12月8日開催の2012年度第3回理事会議事録が承認された。

#### ◎ 報告事項

##### 1. 各委員会の活動状況について

##### ■ 企画委員会

堤英敬 2013年大会企画委員長から2013年度研究会のプログラムについて報告があった。

森裕城 2014年大会企画委員長より，企画委員の人選を現在進めている旨が報告された。

##### ■ 年報編集委員会

小西徳應年報編集委員長（第29巻担当）より，第29巻1号の内容に関する報告があった。

谷口尚子年報編集委員長（第30巻担当）より，第30巻1号において特集論文の公募を行う方針が示された。これに対し，投稿論文に対する査読のスケジュールや査読・編集両委員会の役割分担に関する議論がなされた。同件については今後詳細を詰め，次回理事会で決定，総会において告知する方向となった。

##### ■ 選挙管理委員会

浅野和生選挙管理委員長より，選挙管理委員の人選を現在進めている旨が報告された。

##### ■ 査読委員会

只野雅人査読委員長より，投稿論文の査読状況に関する報告があった。

##### ■ 学会賞選考委員会

鈴木基史学会賞選考委員長より，2012年度学会賞の選考経過および受賞候補者全員よ

り 2013 年度大会の懇親会出席の意向を確認済みであることが報告された。

■ 電子情報化特別委員会

今井亮佑電子情報化委員長より、論文投稿システムの開発状況についての報告があった。

■ 国際化特別委員会

とくに報告事項なし。

2. 2013 年度総会・研究会の開催について（京都大学）

鈴木基史 2013 年度大会委員長より、同大会の準備状況についての報告があった。

3. 2014 年度総会・研究会の開催について（早稲田大学）

河野勝 2014 年度大会委員長より、同大会の準備状況についての報告があった。日程は 2014 年 5 月 17 日、18 日で決定された。

4. 2013 年度予算（案）について

名取良太事務局長より、2013 年度予算案について報告があった。今後経常的な赤字が見込まれる点については、事務委託の廃止、委員会・事務局活動費の節減、会員数の拡大等による対応を検討していると説明された。事務委託の廃止については、9 月の理事会の審議事項とすることとした。

◎ 審議事項

5. 2013 年度査読委員会委員長について

名取事務局長より、次期査読委員会委員長として現副委員長の山田真裕理事が推薦された。同件について承認した。続いて、名取事務局長より、次期査読委員会副委員長を選任したことが報告された。

6. 2013 年度学会賞選考委員会委員長について

名取事務局長より、2013 年度学会賞選考委員長として池田謙一会員、および次期副委員長が推薦され、同件について承認した。

7. 査読委員会規程の改正について

只野査読委員長より査読委員会規程の改正案について趣旨説明がなされた。同案について承認した。また査読者割り当てに関する査読委員会内規の変更についても承認された。

8. 海外学会報告奨励費および国際共同研究奨励費の創設について

日野愛郎国際化委員長より、海外学会報告奨励費および国際共同研究奨励費に関する要綱案および応募要領案が示され、これらについて審議がなされた。意見をふまえ、最終案を作成し、5 月理事会で提示することとした。

9. その他

(1) 入退会申込者について

入会希望者 3 名について承認した。

名取事務局長より、終身会員制度の導入に関する問題提起があった。

(2) その他

3 月 21 日に平野浩理事長と名取事務局長が櫻田会を訪問し、来年度の年報発行助成を受けた旨、名取事務局長より報告された。

2015 年度大会開催校については現在調整中である旨、名取事務局長より報告された。

(3) 意見交換

会員数増加の方策について意見交換があった。学会ホームページのさらなる充実、非会員の研究会報告者の勧誘を進めるべきであるという意見があった。

以 上

# 日本選挙学会

## 2013 年度第 1 回理事会議事録

日 時：2013 年 5 月 18 日（土） 12 時 05 分～12 時 55 分

場 所：京都大学・吉田キャンパス

出席者：平野理事長、名取事務局長、浅野、阿部、池谷、今井、岩崎、岩淵、川戸、河崎、河野、小西、品田、白鳥、鈴木、竹下、竹中、建林、谷口、堤、日野、森正、森裕城、森脇（以上理事）、岡田、安野（以上監事）、荒井、岡田、境家、清水（以上幹事）。

### 議題

#### ◎ 確認事項

2013 年 3 月 23 日開催の 2012 年度第 4 回理事会議事録が承認された。

#### ◎ 報告事項

##### 1. 各委員会の活動状況について

###### ■ 企画委員会事項

堤英敬 2013 年度大会企画委員長より、2013 年度研究会の進行状況に関する報告があった。

森裕城 2014 年度大会企画委員長より、委員の人選に関する報告があった。

###### ■ 編集委員会事項

小西徳應年報編集委員長（第 29 巻担当）より、第 29 巻 1 号の準備状況、および同 2 号の編集方針について報告があった。

谷口尚子年報編集委員長（第 30 巻担当）より委員の人選についての提案があり、これを承認した。また第 30 巻 1 号で行う特集論文公募の方法について説明があった。

###### ■ 査読委員会事項

只野雅人査読委員長より、投稿論文の査読状況に関する報告があった。名取良太事務局長より 2013 年度の委員が報告された。

###### ■ 情報化特別委員会事項

今井亮佑電子情報化委員長より、論文投稿システムの開発状況、および電子ジャーナル化の進捗状況について報告があった。

###### ■ 選挙管理委員会事項

浅野和生選挙管理委員長より、委員の人選に関する報告があった。

##### 2. 2013 年度総会・研究会について（京都大学）

鈴木基史 2013 年度大会委員長より、同大会の進行状況について報告があった。

##### 3. 2014 年度総会・研究会の開催について（早稲田大学）

河野勝 2014 年度大会委員長より、同大会の準備状況についての報告があった。

##### 4. 2015 年度総会・研究会の開催について（熊本県）

名取事務局長より、2015年度総会・研究会は熊本県の協力を得て開催する方針であること、また同大会委員長に今井理事を当てる予定である旨が報告された。今井理事より、熊本県からの援助や研究会用の施設に関する説明があった。

5. 2012年度決算・監査報告について

名取良太事務局長より2012年度決算についての説明がなされ、岡田信弘・安野智子両監事による監査報告が行われた。2012年度決算報告案を承認した。

◎ 審議事項

6. 2013年度予算案について

名取事務局長より2013年度予算案についての説明がなされた。2014年度以降、事務委託の廃止と委員会・事務局活動費の見直し等を進める予定であると説明された。2013年度予算案を承認した。

7. 2013年度海外学会報告奨励費要綱および2013年度国際共同研究奨励費要綱について

日野愛郎国際交流委員長より、海外学会報告奨励費・国際共同研究奨励費制度実施のための要綱、要領、申請書の案が示された。若干の語句修正を加え、以上を承認した。

8. その他

(1) 入退会申込者について

入会希望者9名について承認した。

(2) その他

名取事務局長より、2013年度から委員会ごとに担当幹事を置く方針である旨が報告された。

以 上

## 日本選挙学会 2013 年度第 2 回理事会議事録

日 時：2013 年 9 月 7 日（土） 14 時 00 分～15 時 30 分

場 所：学習院大学・目白キャンパス

出席者：平野理事長、名取事務局長、浅野、今井、岩渕、川戸、河崎、河野、白鳥、谷口、堤、森裕城、森脇（以上理事）、安野（以上監事）、荒井、岡田、境家（以上幹事）。

### 議題

#### ◎ 確認事項（前回議事録および総会議事録）

2013 年 5 月 18 日開催の 2013 年度総会議事録および 2013 年度第 1 回理事会議事録が承認された。

#### ◎ 報告事項

##### 1. 各委員会の活動状況について

###### ■ 企画委員会事項

森裕城 2014 年度大会企画委員長より、2014 年度研究会企画の準備状況について報告があり、ポスター報告について追加募集を行う予定であることが説明された。

###### ■ 編集委員会事項

小西徳應年報編集委員長（第 29 巻担当，欠席により名取良太事務局長代読）より，第 29 巻 1 号が発行済みであること，また同 2 号の編集状況について報告があった。

谷口尚子年報編集委員長（第 30 巻担当）より，第 30 巻 1 号の編集状況，および同 2 号の編集方針について説明があった。

###### ■ 査読委員会事項

山田真裕査読委員長より（欠席により名取事務局長代読），6 月 30 日に第 1 回査読委員会が開催された旨，また投稿論文の査読状況について報告があった。

###### ■ 学会賞選考委員会事項

池田謙一学会賞選考委員長より（欠席により名取事務局長代読），2013 年度学会賞の選考状況について報告があった。

###### ■ 電子情報化特別委員会事項

今井亮佑電子情報化委員長より，論文投稿システムの開発状況について報告があった。

■ 国際交流特別委員会事項

日野愛郎国際交流委員長より（欠席により名取事務局長代読）、海外学会報告奨励費要綱および国際共同研究奨励費要綱の改正に関する報告があった。

2. 2014 年度総会・研究会の開催について（早稲田大学）

河野勝 2014 年度大会委員長より、同大会の準備状況についての報告があった。

3. 2015 年度総会・研究会の開催について（熊本県）

今井 2015 年度大会委員長より、同大会の準備状況についての報告があった。

4. 2013 年度海外学会報告奨励費および 2013 年度国際共同研究奨励費について

日野国際交流委員長より（欠席により名取事務局長代読）、2013 年度海外学会報告奨励費および 2013 年度国際共同研究奨励費の選考結果について報告があった。選考の結果、国際共同研究奨励費についての応募 2 件が採択され、それぞれに 20 万円が支給される旨が説明された。

◎ 審議事項

5. 日本選挙学会公選理事候補者選出選挙被選挙人・選挙人名簿について

浅野和生選挙管理委員長より、2013 年度理事選挙の選挙人・被選挙人名簿案が示された。審議のうえ、選挙人・被選挙人名簿を確定した。

6. 入会審査期間について

名取事務局長より、入会審査期間を「申込書到着後 2 週間」と定め、同ルールをウェブ上で公表すること、また入会申込書の推薦人氏名に「自署・捺印」を明記する（ただし大会時の入会申込書提出にあたっては、捺印の省略を可とする）こと、以上の 2 点について提案があった。審議のうえ、各案について承認した。

7. その他

(1) 入退会申込者について

入会希望者 2 名について承認した。

◎ 懇談事項

(1) 「事務委託撤退」について

2014 年度からの事務委託撤退とそれに伴う事務局幹事の役割分担明確化の必要性について意見交換がなされた。

(2) 「未納退会者に関する対応」について

会費未納退会者に対する事前あるいは事後の通知の必要性について意見交換がなされた。

(3) 「終身会員制度」について

終身会員制度導入の必要性, また関連して会員資格一般に関する意見交換がなされた。

以 上

[目次へ](#)

## 事務局だより

### 【新入会員】

昨年度のニュース・レター発行後に入会申請が承認された方は、以下の 23 名です（申請時の所属を記載しております）。また 2 名が再入会を承認されました。

金 東煥	（立命館大学）	澁谷 壮紀	（東京工業大学）
古賀 光生	（二松学舎大学）	ヒジノ ケン.L	（慶應義塾大学）
Chris Whinkler	（ドイツ日本研究所）	城下 賢一	（京都大学）
Jou Willy	（早稲田大学）	菊池 啓一	（筑波大学）
篠崎 英樹	（慶應義塾大学）	三輪 洋文	（東京大学）
横大道 聡	（鹿児島大学）	三浦 麻子	（関西学院大学）
西山 千絵	（沖縄国際大学）	清水 和巳	（早稲田大学）
須藤 裕	（日本放送協会）	稲村 勇輝	（早稲田大学）
浅井 直哉	（日本大学）	中西 正紀	（フリーランス）
佐賀 香織	（法政大学）	宮本 剛志	（亜細亜大学）
梶原 晶	（神戸大学）	根元 邦朗	（早稲田大学）
小島 真一	（神戸大学）		

### 【退会会員】

昨年度のニュース・レター発行後、23 名の会員が退会（うち未納退会 11 名）され、3 名の会員が今年度末で退会予定です。

### 【現在の会員数】

上記の異動で、2013 年 12 月末日現在の会員数は、509 名（うち 3 名は今年度末で退会予定）となっております。

### 【会費の納入について】

会費は郵便振替によって納入して頂いております。口座番号と会費は以下の通りです。

#### 口座番号

振込先（加入者名）： 日本選挙学会  
口座番号： 00170-2-31731

#### 年会費

正会員（大学院生以上）： 8,000 円  
法人会員： 50,000 円  
準会員（学部学生のみ）： 2,000 円

会費を納入された方には、該当する年度の『選挙研究』を送付いたします。

過去の会費の滞納状況によっては、学会からの事務連絡、研究会での報告、年報への投稿資格などが停止される場合もあります。理事選挙のある年の7月1日時点で当該年度の会費が未納の場合、理事選挙における選挙権・被選挙権が停止されます。会費は、滞納がある場合、滞納分から充当していきます。

2008年度から、滞納猶予期限3年を経過した会員の方には自動的に退会して頂くことになっております。2014年3月末日で3年間会費未納の場合、2013年度をもって自動退会扱いとなります。

なお、会費納入状況につきましては、学会HPの会員用ページ(My JAES)でご確認下さい(<https://www.jaesnet.org/myjaes/index.php>)。

### 【2014年度総会・研究会について】

2014年度の総会・研究会は、2014年5月17日(土)・18日(日)の2日間、河野勝大会運営委員長の下、早稲田大学(東京都新宿区)で開催される予定です。

宿泊については、開催校では準備いたしませんので、各自でご手配下さい。懇親会は、19日(土)に実施いたします。奮ってご参加下さい。

### 【学会ホームページについて】

2009年に学会HPの全面的なリニューアルを行うとともに、会員用ページ(My JAES)を導入しました。My JAESでは、会員情報(「所属」「役職」「メールアドレス」「生年」)・書類送付先(「郵便番号」「住所」「電話番号」「FAX番号」(電話・FAX番号の登録は任意))の変更、会費納入状況の確認を、会員ご自身の手で行って頂くことができますので、是非ご活用下さい。特に、書類送付先については、誤配・遅配などの原因となりますので、会員各自で随時更新して頂きますようお願い申し上げます。また、研究会での報告の応募、報告概要や論文のダウンロード・アップロードを学会HPで行うようになっております。今後、論文投稿なども学会HPで行うよう開発を進めて参ります。

### ※※※事務局からのお願い※※※

事務局からの各種ご案内も、学会HPやメールを活用して行うようになっておりますが、登録されているメールアドレスに誤りがある場合、配信不能となってしまいます。My JAESにて、ご自身のメールアドレスに誤りがないか、ご確認頂きますようお願い申し上げます。

## 【『選挙研究』の電子アーカイブ化・電子ジャーナル化について】

すでにご案内したとおり、日本選挙学会年報『選挙研究』第1号から第23号については、電子アーカイブ化が済み、独立行政法人・科学技術振興機構（JST）のJ-Stage（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaes1986/-char/ja/>）で公開されております（2012年度よりJ-Stageに登載移行となりました）。是非ご活用下さい。

既刊の第24巻から第29巻2号については、電子情報化特別委員会（今井亮佑委員長）において、電子ジャーナル化の準備（J-Stageへのアップロードに向けたファイルの変換作業）を行っております。

なお、『選挙研究』に掲載される論文等は、発行から2年が経過した後、原則として電子化されます。ご執筆頂く方々には、この旨ご了解頂きますよう、お願い申し上げます。

何かご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

## 【事務局について】

日本選挙学会の事務局は、理事長の所属する学習院大学に所在しておりますが、事務局長・幹事は以下の5名が務めております。学会に関する各種お問い合わせは、事務局長までお願いいたします。

事務局長：名取 良太（関西大学総合情報学部）  
〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1  
Tel：072-690-2151（代表）  
E-mail：office@jaesnet.org

幹 事：荒井 紀一郎（早稲田大学）  
境家 史郎（東京大学）  
岡田 陽介（慶應義塾大学）  
清水 唯一朗（慶應義塾大学）

[目次へ](#)